

特研修第105-25号
令和6年2月20日

各都道府県知事 殿

独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所
理事長 中村 信一

令和6年度インクルーシブ教育システムの充実に関わる指導者研究協議会
受講候補者の推薦について（依頼）

当研究所の各種事業の実施に当たりましては、日頃より御協力を賜り誠にありがとうございます。

当研究所では、令和6年度インクルーシブ教育システムの充実に関わる指導者研究協議会を下記のとおり実施します。つきましては、別添の実施要項に基づき、貴都道府県所轄の私立学校等における受講候補者を下記期日までにご推薦くださいますようお願いいたします。

なお、このことにつきましては、貴都道府県教育委員会に対しても別途照会を行っております。受講候補者数が募集人員を超過した場合には都道府県ごとの受入調整を行うことがありますので、受講候補者の推薦に当たりましては、関係各課と推薦順位等を調整の上ご回答くださいますようお願いいたします。

記

1. 令和6年度特別支援教育におけるICT活用に関わる指導者研究協議会
2. 令和6年度高等学校における通級による指導に関わる指導者研究協議会
3. 令和6年度交流及び共同学習推進指導者研究協議会

推薦期限：令和6年4月26日（金）

*受講候補者の推薦に係る実施要項及び推薦様式は、当研究所ホームページよりダウンロードすることができます。（https://www.nise.go.jp/nc/training_seminar）

<本件問い合わせ先>

総務部研修情報課研修支援室

Tel：046-839-6889、6888 Fax：046-839-6915

e-mail：a-kenshu@nise.go.jp



令和6年度特別支援教育におけるICT活用に関わる指導者研究協議会実施要項

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

1. 趣 旨

インクルーシブ教育システムの充実に関わる指導者研究協議会は、特別支援教育政策上及び教育現場の喫緊の課題に対応した指導者養成研修である。本協議会では、各都道府県等の特別支援教育におけるICT活用に関わる指導的立場の教職員を対象に、オンデマンド配信を併用した集合型研修を実施する。

2. 目 的

インクルーシブ教育システムの充実に向け、障害のある幼児児童生徒に適切な指導・支援を行う上で必要なICT活用について、指導的立場にある教職員による研究協議等を通じ、教育支援機器等の活用に関する専門的知識を深め、各地域における指導・支援の充実を図る。

3. 期 日

令和6年7月25日（木）から26日（金）までとする。

＊一部の内容については、予めオンデマンドで配信する。

4. 会 場

国立特別支援教育総合研究所 研修棟他

〒239-8585 神奈川県横須賀市野比5-1-1

電話 046-839-6889、6888（総務部研修情報課研修支援室ダイヤルイン）

5. 研修内容

本研修では、ICT利活用等による特別支援教育の質の向上に向けた具体的な方策等について、行政説明、情報提供、取組紹介、演習、研究協議等を行う。

6. 受講者の推薦等

(1) 受講対象

教育委員会・特別支援教育センター等の指導主事及び障害のある幼児児童生徒のためのICT活用をはじめとする教育支援機器等活用について指導実績があり、かつ指導的立場にある幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の教員とする。

(2) 募集人員

70名とする。

(3) 推薦手続

i) 推薦機関は次のとおりとする。

ア 公立学校の教員及び教育委員会・特別支援教育センター等の教職員については、当該都道府県又は指定都市教育委員会

イ 国立大学附属学校の教員については、当該国立大学の担当部局

ウ 私立学校の教員については、当該都道府県の知事部局

- ii) 推薦機関は、受講候補者を選定のうえ、別紙様式（推薦様式）により当研究所の理事長（以下「理事長」という。）に推薦すること。
- iii) 推薦人数は、原則1名程度とし、2名以上を推薦する場合は、推薦順位を明記すること。
- iv) 推薦期限は、令和6年4月26日（金）とする。

7. 受講者の決定

- (1) 理事長は、推薦のあった者の中から受講者を決定し、その結果を5月下旬を目途に推薦機関に通知する。
- (2) 推薦状況によっては、人数を調整する場合がある。
- (3) 受講者決定の後、受講に当たっての連絡事項を、推薦機関を経由して受講者に連絡する。

8. 研修に関する事前提出物

- (1) 受講者は、協議等に主体的に参加し、課題解決に資するための題材として事前にレポートを作成し、当研究所に提出すること。
- (2) レポートの書式及び提出期限等については、受講に当たっての連絡事項とともに、推薦者を経由して受講者に連絡する。

9. 宿泊施設の利用

受講者は、原則として当研究所の研修員宿泊施設に宿泊すること。

10. 研修に要する経費

受講料は徴収しない。宿泊料その他所要経費については別紙参照のこと。

11. 受講の中止等

推薦機関は、本研修の開催前に受講者の研修派遣を取り止める場合又は他の者に変更したい場合は、その理由を付した書面を速やかに理事長に届け出て承認を得ること。

12. その他

- (1) 感染症の状況など諸事情により、実施方法を変更する場合がある。その際は、推薦機関を経由して受講者に連絡する。
- (2) 本研修修了1年後を目途として、教育委員会等派遣元に対して、アンケート調査等を実施する予定である。
- (3) この要項に定めるもののほか、本研修の実施に関し必要な事項は、別に定める。

研修期間中に要する経費

(令和6年度特別支援教育におけるICT活用に関わる指導者研究協議会)

1. 宿泊に伴う経費

【研修員宿泊棟宿泊料】

1泊 1,800円

*宿泊料には、光熱水料等相当額、寝具リース・クリーニング代を含みます。

*生活用品（石けん、ゴミ袋等）は各自負担となります。

*宿泊料は、予め金融機関振込によるものとし、受講者において連絡します。

*原則として既納の宿泊料は返還できません。

【研修員宿泊棟居室概要】

*全室ユニットバス・トイレ・エアコン付きの個室です。

*机、椅子、ベッド（衣類整理箱付き、時計なし）、ロッカー、電気スタンド、冷蔵庫を備え付けています。

*共用スペースに洗濯機、衣類乾燥機、掃除機、電子レンジ、アイロン等を備え付けています。

2. 食事代

【研修員食堂定食料金（令和6年2月現在）】

1,590円（内訳：初日夕食650円、2日目朝食390円、昼食550円）

なお、利用日までに、料金の改定が行われた場合は、新料金を適用する。

*当研究所構内の研修員食堂にて初日の夕食、2日目の朝食及び昼食を用意しますので、受付時に3食分の食券をご購入ください。

*研修員宿泊棟内での自炊は禁止しています。

(推薦様式)

第 令和 年 月 号
令 和 年 月 日

独立行政法人

国立特別支援教育総合研究所理事長 殿

(推薦機関代表者)

令和6年度特別支援教育におけるICT活用に関わる指導者研究協議会受講候補者の推薦について

このことについて、別紙のとおり推薦します。

(別紙) 令和6年度特別支援教育におけるICT活用に関わる指導者研究者協議会受講候補者 一覧

推薦 順位	ふりがな	氏 名	生年月日	性別	勤務先	郵便番号	勤務先住所	電話番号	メールアドレス	職 名	職務内容	経験年数	備考	(当研究所の) 研修受講歴
1														

(連絡担当者)			
推薦機関等名	所属・職名	担当者名	電話番号
			メールアドレス

(記入上の注意)

1. 令和6年4月1日現在で記入してください。
2. 原則1名程度としております。複数名を推薦する場合は、記入欄を追加したうえで推薦順位を明記してください。
3. オンライン研修を併用した研修となるため、連絡用に本人が確認できるe-mailを記入してください。
4. 職名欄には、勤務先における学年、学級又は学級（部署種別）の職務内容を併せて記入してください。
5. 経験年数欄は、ICT活用に関する指導実績（年数）を記入してください。
6. 受講者は、研修員宿泊施設の利用が可能です。もし利用を要しない場合はその旨を備考欄に必ず記入してください。
7. 受講に際し、点訳、手話通訳、車いす等の配慮や持病等健康面での配慮を必要とする場合は、備考欄に配慮が必要な事項等について具体的に記入してください。
後日、配慮を必要とする方の受入準備のため、連絡担当者又は受講者に当研究所より連絡させていただくことがあります。
8. 当研究所の研修受講歴があれば、研修年度、研修名等を記入してください。

※集計作業の際によりExcelデータでの提出にご協力ください。必要な場合はデータにパスワードを設定しても構いません。
※ご提出いただいた個人情報に関する事項については、当研究所内において研修事業の運営のために使用します。

令和6年度高等学校における通級による指導に関わる指導者研究協議会実施要項

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

1. 趣 旨

インクルーシブ教育システムの充実に関わる指導者研究協議会は、特別支援教育政策上及び教育現場の喫緊の課題に対応した指導者養成研修である。本協議会では、各都道府県等の高等学校における通級による指導に関わる指導的立場にある教職員を対象に、オンデマンド配信を併用した集合型研修を実施する。

2. 目 的

インクルーシブ教育システムの充実に向け、各都道府県等において高等学校における通級による指導に関わる体制整備や校内体制づくりを推進する指導的立場にある教職員による研究協議等を通じ、各地域の高等学校における通級による指導の充実を図る。

3. 期 日

令和6年8月29日（木）から8月30日（金）までとする。

*一部の内容については、予めオンデマンドで配信する。

4. 会 場

国立特別支援教育総合研究所 研修棟他

〒239-8585 神奈川県横須賀市野比5-1-1

電話 046-839-6889、6888（総務部研修情報課研修支援室ダイヤルイン）

5. 研修内容

本研修では、高等学校における通級による指導に関する制度運用や実践上の課題等について、行政説明、情報提供、取組紹介、研究協議等を行う。

6. 受講者の推薦等

(1) 受講対象

各都道府県等において、高等学校における通級による指導に関わる指導主事及び高等学校における通級による指導の実績が3年以上ある学校で、現に通級による指導を担当する教員とする。

(2) 募集人員

70名とする。

(3) 推薦手続

i) 推薦機関は次のとおりとする。

ア 公立学校の教員及び教育委員会・特別支援教育センター等の教職員については、当該都道府県又は指定都市教育委員会

イ 国立大学附属学校の教員については、当該国立大学の担当部局

ウ 私立学校の教員については、当該都道府県の知事部局

ii) 推薦機関は、受講候補者を選定のうえ、別紙様式（推薦様式）により当研究所の理事長（以

下「理事長」という。)に推薦すること。

iii) 推薦人数は、原則1名程度とし、2名以上を推薦する場合は、推薦順位を明記すること。

iv) 推薦期限は、令和6年4月26日(金)とする。

7. 受講者の決定

- (1) 理事長は、推薦のあった者の中から受講者を決定し、その結果を5月下旬を目途に推薦機関に通知する。
- (2) 推薦状況によっては、人数を調整する場合がある。
- (3) 受講者決定の後、受講に当たっての連絡事項を、推薦機関を経由して受講者に連絡する。

8. 研修に関する事前提出物

- (1) 受講者は、協議等に主体的に参加し、課題解決に資するための題材として事前にレポートを作成し、当研究所に提出すること。
- (2) レポートの書式及び提出期限等については、受講に当たっての連絡事項とともに、推薦機関を経由して受講者に連絡する。

9. 宿泊施設の利用

受講者は、原則として当研究所の研修員宿泊施設に宿泊すること。

10. 研修に要する経費

受講料は徴収しない。宿泊料その他所要経費については別紙参照のこと。

11. 受講の中止等

推薦機関は、本研修の開催前に受講者の研修派遣を取り止める場合又は他の者に変更したい場合は、その理由を付した書面を速やかに理事長に届け出て承認を得ること。

12. その他

- (1) 感染症の状況など諸事情により、実施方法を変更する場合がある。その際は、推薦機関を経由して受講者に連絡する。
- (2) 本研修修了1年後を目途として、教育委員会等派遣元に対してアンケート調査等を実施する予定である。
- (3) この要項に定めるもののほか、本研修の実施に関し必要な事項は、別に定める。

研修期間中に要する経費

(令和6年度高等学校における通級による指導に関わる指導者研究協議会)

1. 宿泊に伴う経費

【研修員宿泊棟宿泊料】

1泊 当たり 1,800円

* 宿泊料には、光熱水料等相当額、寝具リース・クリーニング代を含みます。

* 生活用品（石けん、ゴミ袋等）は各自負担となります。

* 宿泊料は、予め金融機関振込によるものとし、受講者において連絡します。

* 原則として既納の宿泊料は返還できません。

【研修員宿泊棟居室概要】

* 全室ユニットバス・トイレ・エアコン付きの個室です。

* 机、椅子、ベッド（衣類整理箱付き、時計なし）、ロッカー、電気スタンド、冷蔵庫を備え付けています。

* 共用スペースに洗濯機、衣類乾燥機、掃除機、電子レンジ、アイロン等を備え付けています。

2. 食事代

【研修員食堂定食料金（令和6年2月現在）】

1,590円（内訳：初日夕食650円、2日目朝食390円、昼食550円）

なお、利用日までに、料金の改定が行われた場合は、新料金を適用する。

* 当研究所構内の研修員食堂にて、期間中の夕食、朝食及び昼食を用意しますので、受付時に期間中の食券をご購入ください。

* 研修員宿泊棟内での自炊は禁止しています。

(推薦様式)

第 令和 年 月 号
令 和 年 月 日

独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所理事長 殿

(推薦機関代表者)

令和6年度高等学校における通級による指導に関わる指導者研究協議会受講候補者の推薦について

このことについて、別紙のとおり推薦します。

(別紙) 令和6年度高等学校における通級による指導に関する指導者研究協議会受講候補者の推薦について 一覧

推薦 順位	ふりがな	氏 名	生 年 月 日	性 別	勤 務 先	郵便番号	勤務先住所	電話番号	メールアドレス	職 名	所属校の通級に よる指導の 実績年数	所属校の通級に よる指導の 開始時期	受講候補者の通級 による指導の 実績年数	受講候補者の通級 による指導の 担当 校数	備考	(当研究所の) 研修受講履歴
1																

(研修担当者)			
推薦順位等名	所属・職名	担当者名	メールアドレス

(記入上の注意)

1. 令和6年4月1日現在で記入してください。
2. 原則1名程度としております。複数名を推薦する場合は、記入欄を追加したうえで推薦順位を明記してください。
3. オンライン研修に活用した研修となるため、推薦用に入力確認できるe-mailを記入してください。
4. 職名欄には、勤務先における学年等の職務内容を併せて記入してください。
5. 通級による指導の実績年数について、1年に満たない期間がある場合は月数も記入してください。(例：3年6か月)
6. 受講者は、研修員宿泊研修の利用が可能です。もし利用を要しない場合はその旨を備考欄に必ず記入してください。
7. 受講に際し、点検、手紙送附、車いす等の配慮や情報通信面での配慮を必要とする場合は、備考欄に配慮が必要な事項等について具体的に記入してください。
8. 後日、配慮を必要とする方の受入準備のため、連絡担当者又は受講者に当研究所より連絡させていただくことがあります。
8. 当研究所の研修受講履歴があれば、研修年度、研修座席に、研修名等を記入してください。

※集計作業の際によりExcelデータでの提出にご協力ください。必要な場合はデータにパスワードを設定しても構いません。
※ご提出いただいた個人情報に関する事項については、当研究所内において研修事業の運営のために使用します。

令和6年度交流及び共同学習推進指導者研究協議会実施要項

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

1. 趣 旨

インクルーシブ教育システムの充実に関わる指導者研究協議会は、特別支援教育政策上及び教育現場の喫緊の課題に対応した指導者養成研修である。本協議会では、各都道府県等の交流及び共同学習に関わる指導的立場の教職員を対象に、オンラインによる研修を実施する。

2. 目 的

インクルーシブ教育システムの充実に向け、各都道府県等において障害のある幼児児童生徒と障害のない幼児児童生徒との交流及び共同学習を推進する立場にある教職員による研究協議等を通じ、各地域における交流及び共同学習と障害の理解推進を図る。

3. 期 日

令和6年11月27日(水) Web会議システム (Zoom) でのオンライン開催

※一部の内容については、予めオンデマンドで配信する。

4. 研修内容

本研修では、障害のある幼児児童生徒と障害のない幼児児童生徒との交流及び共同学習を進め、相互理解を促進するための考え方や具体的な方策について、行政説明、情報提供、取組紹介、研究協議等を行う。

5. 受講者の推薦等

(1) 受講対象

教育委員会・特別支援教育センター等の指導主事及び幼稚園・小学校・中学校・義務教育諸学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校において交流及び共同学習を推進する立場にある教員とする。

(2) 募集人員

80名とする。

(3) 推薦手続

i) 推薦機関は次のとおりとする。

ア 公立学校の教員及び教育委員会・特別支援教育センター等の教職員については、当該都道府県又は指定都市教育委員会

イ 国立大学附属学校の教員については、当該国立大学の担当部局

ウ 私立学校の教員については、当該都道府県の知事部局

ii) 推薦機関は、受講候補者を選定のうえ、別紙様式（推薦様式）により当研究所の理事長（以下「理事長」という。）に推薦すること。

iii) 受講者は、原則1名程度とし、2名以上を推薦する場合は、推薦順位を明記すること。

iv) 推薦期限は、令和6年4月26日（金）とする。

6. 受講者の決定

- (1) 理事長は、推薦のあった者の中から受講者を決定し、その結果を5月下旬を目途に推薦機関に通知する。
- (2) 推薦状況によっては、人数を調整する場合がある。
- (3) 受講者決定の後、受講に当たっての連絡事項を、推薦機関を経由して受講者に連絡する。

7. 研修に関する事前提出物

- (1) 受講者は、協議等に主体的に参加し、課題解決に資するための題材として事前にレポートを作成し、当研究所に提出すること。
- (2) レポートの書式及び提出期限等については、受講に当たっての連絡事項とともに、推薦機関を経由して受講者に連絡する。

8. 研修に要する経費

受講料は徴収しない。

9. 受講の中止等

推薦機関は、本研修の開催前に受講者の研修受講を取り止める場合又は他の者に変更したい場合は、その理由を付した書面を速やかに理事長に届け出て承認を得ること。

10. その他

- (1) 受講者が研修に専念できるよう、推薦機関等には適切な受講環境及び研修時間の確保等、特段の配慮をお願いする。
- (2) 本研修では、Web会議システム（Zoom）を用いて同時双方向通信を行う。受講に当たっては、安定したインターネット通信環境を確保する他、相互に音声・映像をやりとりする協議等ができるよう、音声マイク・Webカメラ等の必要機器を備えた端末を、一人1台準備すること。
- (3) 本研修修了1年後を目途として、教育委員会等派遣元に対してアンケート調査等を実施する予定である。
- (4) この要項に定めるもののほか、本研修の実施に関し必要な事項は、別に定める。

(推薦様式)

第 令和 年 月 号
令 和 年 月 日

独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所理事長 殿

(推薦機関代表者)

令和6年度交流及び共同学習推進指導者研究協議会受講候補者の推薦について

このことについて、別紙のとおり推薦します。

推薦 順位	ふりがな	氏 名	生 年 月 日	性 別	勤務先	郵便番号	勤務先住所	電話番号	メールアドレス	職 名	職務内容	備考	(当研究所の) 研修受調歴
1													

(連絡担当者)

推薦機関等名	所 属 ・ 職 名	担当者名	電話番号	メールアドレス

(記入上の注意)

1. 令和6年4月1日現在で記入してください。
2. 原則1名程度としております。敬数を推薦する場合は、記入欄を追加したうえで推薦順位を明記してください。
3. オンデマンドを併用した研修となるため、連絡用に本人が確認できるe-mailを記入してください。
4. 職名欄には、勤務校における学年、学部又は学級（障害種別）の職務内容を併せて記入してください。
5. 受調に際し、点訳、手話通訳、筆いす等の配慮や病弱等健康面での配慮を必要とする場合は、備考欄に配慮が必要な事項等について具体的に記入してください。
後日、配慮を必要とする方の受入準備のため、連絡担当者又は受調者に当研究所より連絡させていただくことがあります。
6. 当研究所の研修受調歴があれば、研修年度、研修名等を記入してください。

※集計作業の都合によりExcelデータでの提出にご協力ください。必要な場合はデータにパスワードを設定しても構いません。
※ご提出いただいた個人情報に関する事項については、当研究所内において研修事業の運営のために使用します。